

# Post

この欄は各地の会  
員の方の声をのせ  
るためのものでま  
ごしく記事をお  
送り下さい「研究  
通信」の批判も  
(編集部)

## 会名についで

既報の如く会名はきめました。がそれ以前によせられた意見を再三訂合せ会席上紹介し討論しました。  
(池田被祐氏)「……公の名前は村落社会学会が一番よろしうに思われます。(井森陸平氏)「……通俗には農村社会学会がよいのでは有りませうが、都市社会学会に対する意味でも」  
これらの意見を対し考え合せた上、学会よりも研究会の方が物々しくなく、研究本位の地味な研究サークルの感じがでる

## 会員についで

行内利美氏 仙台に支部をつくりたく思つておりますが、只今多忙なので四月に入社マカラ具体化したいと思つて居ります。(井上陸平氏)「……協会の社会学研究室関係その他、法聖教育の中にも若手の入会希望者があつて思ひますのでよろしく(井上登氏)「……会員についでは何れも、時に研究に興味をもつ学生にまで範囲をひろげるか否かの点についで御配慮を賜はりたく存じます」……  
学生でなくとも一向差障りなからといふ結論です。  
関川越 内蔵名はいろいろ各地方の多くの入会希望者の紹介を待ました。尚内蔵氏より会員には、(1)支部より連絡連絡をとるか、(2)地方毎に当分の御意向が有り、現庄まで東京部内の一部のみ(2)により他は(1)によるとおぼたえした。地方は一括して誰々にとお申出下さいれば郵送

費の節約に存ると思ひます。

## 文献目録についで

(行内利美氏) 電にリストだけでなく、主筆等との内容紹介、その回覧を指摘等々是非考慮したい。  
これについで、は廣教の關係から文献解題は、アガレリから者評及び研究動向概にゆづることになりました。

## 今秋第一回討論大会

南催地予定地の受入れ  
についで

(行内利美氏)「……今年日本社会学会大会が他日であるので、城々の討論大会も、仙台が当番に存る形ですが、具体的には、今期前に十分訂合せ致し、万全をつくしたり、会場などのことは別に心配をく都合できます」

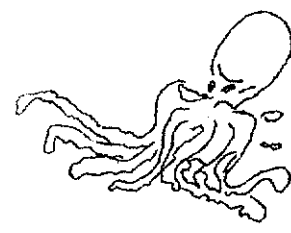
## 共同研究課題

についで

共同研究課題は前記の如く決りましたが、次のような案が各地から寄せられ検討されました。  
(原宏氏)「……近代産業と村落」

どの程度でせうか。村落構造が近代産業と  
 接触してコミュニティの受容とけ  
 つくあるとらうりみです。農地改革とニ  
 つ位にしては如何か  
 (大山彦一氏)「会員の地域別に担当する  
 方法」(四全口的にテーマを担当する方法  
 の中)日南園農村の比較研究  
 (四)に於いては、小生は南日本九州島嶼  
 (南面諸島を含む)地区を担当する甲斐を  
 もつています  
 (四)テーマ例へば小生の場合はマキ別に  
 全口的に協力し他の同テーマに於いて比  
 較検討したり  
 (四)従来私の関心事たりし故兵んで参加し  
 ます  
 (井森陸平氏)「本年度の宿題とし  
 ては村落の区切りなどどうかと考へま  
 (分内利美氏)「東北地方の有志の会合で  
 この前柳林園のあるひば郷方子才慎行の  
 本質に於いての両校当とワフ庄家もあり  
 ましたが、最初の課題としてはどうら  
 う異論せありましたか  
 (後藤和夫氏)「大会が年報において社会学  
 の立場からする村落研究の同題を如何と方  
 法論に於いての同題を是非とありあけて  
 たゞき兵衛、(四)同族結合と  
 諸組結合との二類型を全体的に扱えた  
 村落の史的展開の幾つかのケースの中  
 で検証し、更に二類型そのものを再検討

しては、(四)日本  
 資本主義と  
 村落の問題  
 時々の世  
 前期以降の  
 至清の条件  
 の変化と口  
 家の双方核  
 構の変動の  
 中で社会学  
 的に扱えら  
 れた村落が  
 如何に規定され  
 二に規定され  
 義の段階における政治的経済的條件下  
 での村落とそれの文化のしくむ問題  
 既報の決定に対して竹内氏より最初の課  
 題として無題と見られます。唯少し焦  
 突の本やけるまらひがないでもないと思  
 えられますが、この「衝突」がありました  
 が、これに於いては別掲「連絡板」を参  
 照下さい  
 (長多野浩一氏)「共同討議の題目は問題に  
 のぼった農地改革のよりきように於いて  
 であるかと思ひます。しかし大分入  
 きい内容です。かう主要な問題をいくつか  
 に整理したり大々にまた基本的な問題更  
 分析点を明らかにしてそれを共同の討論



に打出してゆくというような整理をする  
 必要があると思ふ。このために別に大会  
 開催事務でなく研究討議の実質的な準備  
 運営をやつてゆく人が必要。私案とし  
 てなるべく早く本部を立ち上げて大会委員  
 を定め各郡は県会委員でも可共同討議の  
 実質的な準備事務及び当日の運営を担  
 当。その年々の討議題目をきめそれによ  
 づて専攻者を担当してもらうことにして  
 よい  
 (有賀良左衛門氏)「大会委員の名称では大  
 会開催委員に当る仮名とまぎらひしい存  
 在。宿題委員でも可、課題委員でも可  
 と思ふ  
 この外名氏より諸種の意見がありました  
 が、概面の都合でやむを得ず、省略いたし  
 ます  
 専 文 員 本 部 委 員 長

